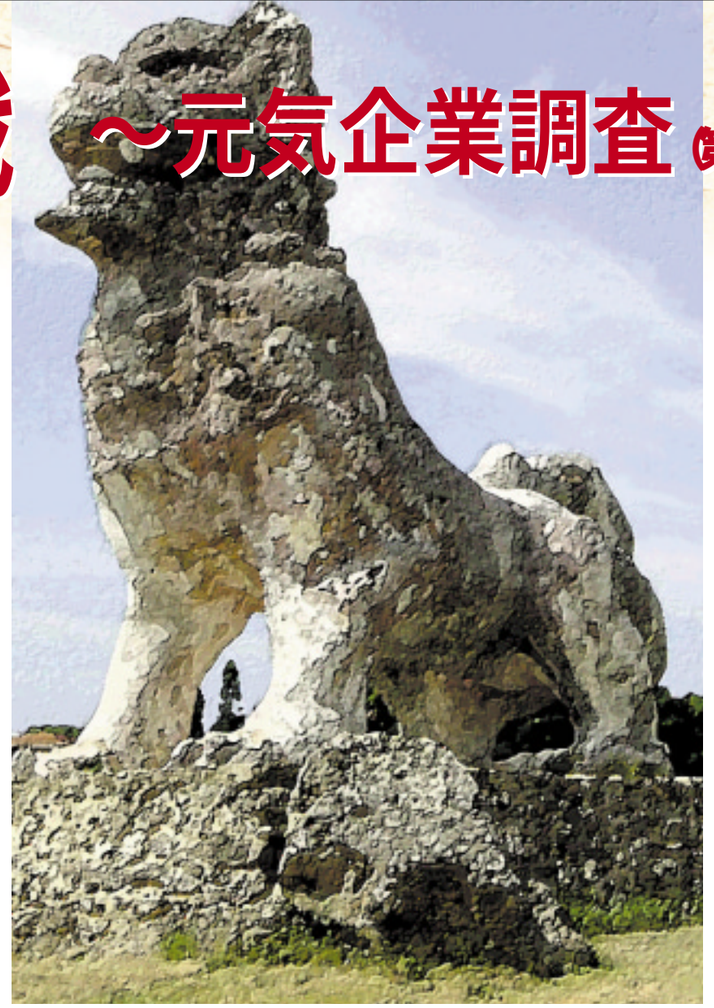
特集 Special Edition その2

21世紀への挑戦 ～元気企業調査（第2弾）～



はじめに

経済産業部では、独自の企業戦略や創意工夫により成長している企業や地域資源を活用して商品開発に取り組んでいる企業、日本一、世界一を目指す企業、学生ベンチャー企業など、いろいろな分野で活躍している「元気企業」を対象に調査を行い、その内容を報告書としてとりまとめました。

調査は、沖縄の元気企業の成功事例を身近な手本（ロールモデル）として紹介することを通し、県内の企業経営者やこれから創業を目指す人、学生の方々に企業経営や創業の際の参考としてもらうことを目的としております。

調査にあたっては、当部の若手職員を中心とした取材スタッフ（47人）が、県内の元気企業の経営者の方々から創業から発展に至るまでの経緯、苦労話、サクセスストーリー、或いは、今後の事業展開の方向等について直接インタビューを行いました。

今、沖縄を取り巻く社会・経済情勢は、グローバリゼーションやIT革命の進展と競争の激化、環境・エネルギー問題への対応等により変化しており、その中で企業を取り巻く内外の環境も一層厳しさを増しております。このような中、独自のアイディアや技術によりビジネスを発想し、起業から成長していく元気企業の取組が地域においてもみられます。彼らは、直面する様々な困難に対し、知恵や忍耐、行動力等で果敢に挑戦し続け、多くの方々にヒントや意欲を与えてくれます。

なお、本調査は昨年に引き続き実施したものですが、対象とした企業は県内の元気企業の一部であり、今後とも出来る限り、紹介したいと考えています。

この報告書を通して、多くのベンチャー企業が育ち、既存企業が活性化することを期待しております。

元気企業調査の概要

〈調査対象企業の特徴〉

①新技術・新商品の開発に取り組んでいる企業

②日本、世界で唯一の製品作りを目指している企業

③沖縄の地域資源を活用して優位な製品作りをしている企業

④独自のアイディアでニュービジネスに取り組んでいる企業

⑤本土への販路開拓に成功している企業。

〈調査内容〉

①会社概要（代表者、創業年、従業員、資本金、売上高、事業・サービス内容等）

②創業から発展の経緯（創業のきっかけ、苦労話、成功要因）

③取り組んだ新技術、商品開発、サービス、アイディアの特徴等

④経営理念、経営方針

⑤今後の事業展開

⑥アドバイス等（他社へのアドバイス、行政への要望等）

〈調査結果〉

(1) 調査の結果から浮かんでくる元気企業の経営者の姿として～

①独自の技術で日本又は世界で通用する企業を目指している。

②独自性、差別化、得意分野への特化により、競争力を確保している。

③研究開発と人材確保で競争を勝ち抜いてきている。

④ひらめきやアイディアを具体的な形にする努力をしている。

⑤事業実現化へのたゆまない努力と失敗を恐れない姿勢で企業経営に取り組んでいる。

(2) 元気企業の経営者が成功した秘訣は何か？成功するためにはどのような努力をしてきたか？

①研究開発に意欲的に取り組んでいる。

②県外で培った技術を沖縄で展開している。

③ニーズの流れ（成長市場、成長商品等）を素早く見抜き、商品開発やサービス開発に繋げている。

④人材育成・確保に取り組んでいる。

⑤販路開拓に取り組んでいる。

事例紹介～成功の秘訣～

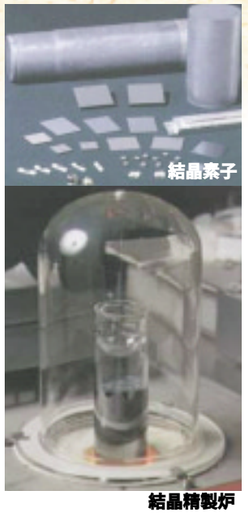
「奇想天外な放射線計測」～㈱アクロラド～

・平成十一年九月、特別自由貿易地域内に沖縄初の半導体製造会社として立地し、世界に通用する企業戦略を展開中。

・新事業創出促進法に基づく新分野開拓計画の認定（県内初）を受け、小型γカメラ装置等の商品化計画を海外企業と共同で推進している。

・技術開発制度の積極的な活用により、製品開発に成功し、海外へ輸出している。

・経営者の一言～「企業経営には忍耐が必要。顧客、会社経営、技術屋としてのバランスが大事」



結晶精製炉

「＋αの国際会議」～㈲アンテナ～

・国際会議などで国内外から訪れてきた人々と地元との触れあいの機会を通して、沖縄の文化や地域の良さを理解してもらえないかと考えたことが起業への動機。

・主催者や参加者のニーズを的確に捉えることで、効果的な会議を開催するための和やかな雰囲気や様々な演出造り等のプラスαの支援を行っている。

・国際会議と地域経済との関わりをもたせるための地元の市場案内ツアーの企画等も提言している。

「心は何時も消費者とともに」～㈱石川酒造～

・五十年余の歴史があり、泡盛の素朴な良さを伝えるために沖縄で唯一、もろみ瓶発酵、瓶貯蔵という伝統的製法を実施している。

・また、泡盛の酒粕から健康食品の開発に二十年をかけて研究開発に取り組み、商品化（もろみ酢スイート）に成功している。

・更に、製造機器を改善し、量産体制を確立するとともに、本土市場への展開を図るため、本土雑誌への広告掲載と感想を寄せた人へ泡盛の無料提供を行い、現在、売上げの八十％が本土市場となっている。

もろみ瓶貯蔵

「技術開発でコストダウン」～㈱稲福建設～

・技術開発によるコストダウンを企業戦略としている。

・高校在学中、先生から「大学進学より早く技術を身につけろ」と言われ、米軍基地の工兵隊で現場の検査関連を経験した後、本土復帰を前に創業。

・木造建築物における連結金具の改良により実用新案を取得。その金具を使用した木造部材の軸組工法の開発により、木造住宅の工程と工期の短縮に成功し、台風に強い住宅の建設を可能にしている。

・また、木造住宅にマッチした螺旋階段を開発し、施工法等に関する技術で、全国発明工夫コンクールに入選。国内、米国で特許を取得。

螺旋階段

「"無"から"有"を生み出す発想」～㈲インターリンク沖縄～

・ひらめきやアイディアを具体的な形にし、無から有を生み出すことを企業戦略としている。

・豆腐よう製造メーカーと泡盛工場をリンクさせ、鍾乳洞で熟成させる企画により、商品開発に成功。

・更に、豆腐ようの商品イメージを一新するため、商品のパッケージデザインは「老舗」をイメージしたものにするなど工夫を凝らしている。

豆腐よう